

発 言 通 告 書

発言者氏名	小幡沙央里
発言の会議	令和元年 9月18日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

1 認知症フレンドリーなまちを目指すことについて

(1) 認知症賠償責任保険について

ア 認知症の方が起こした事故に関して補償する賠償責任保険に市が加入してはいかがか。

イ 「責任能力なし」とされた認知症の方が起こした事故の被害者に対する見舞金制度もあわせて導入してはいかがか。

ウ 将来的に目的税のような形で税金を徴収し、認知症に関する施策を進めていく手法も検討してはいかがか。

(2) 認知症高齢者の外出を支える仕組みについて

ア ホームページ等での「徘徊」という言葉を別の言葉で置きかえる、徘徊高齢者SOSネットワークの名称を変更するなどの配慮が必要ではないか。

イ 同ネットワークに認知症サポーターを加えてはいかがか。

ウ 同ネットワークに新聞配達や宅配など、業務で市内を回る事業者を加えることを検討してはいかがか。

エ 市が主導して市民参加型の「高齢者声かけ訓練」を行っては

いかがか。

オ 市民巻き込み型の I o T タグの導入を検討してはいかがか。

- (3) 認知症の方への早期支援にもつながる認知症の診断助成を行ってはいかがか。

2 養育費の取り立て支援と面会交流支援について

- (1) 養育費取り決めのための公正証書作成支援を行ってはいかがか。
- (2) 養育費の取り立てにつながる、養育費立てかえ事業を行ってはいかがか。
- (3) 国の補助事業でもある面会交流支援事業を、委託実施の可能性も含め、本市で行うことを検討してはいかがか。

3 更生支援について

- (1) 横須賀市再犯防止対策連絡会議が設置されたと伺っているが、この会議でどのような話がされ、今後どのような取り組みを行っていく予定なのか。
- (2) 刑務所や少年院を出られた方に対するわかりやすい相談窓口が必要だと思うが、いかがか。
- (3) 刑務所や少年院を出られた方を雇う「職の里親」と「住まいの支援」ネットワークをつくってはいかがか。

4 障害児の登下校について

- (1) 医療的ケア児の通学について、現在どのような検討がなされているのか。
- (2) スクールバスを利用している障害児について、バスの降車場所を、通っている放課後等デイサービスの近くなど、自宅以外の場所に指定できるようにしてほしいと思うが、いかがか。